



展示製品に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 デザイン研究所
 静岡県浜松市中区中沢町 10-1
 TEL : 053-460-2883 / FAX : 053-463-4922

00 key between people

コンセプトモデル / 2008 *



形状に制約が少ない電子ピアノで可能となった、演奏者と聴衆の間に遮るものがないフラットなテーブル形状と、聴衆が思い思いの場所を確保できるシルエット。人と人の思いや関係性を、場の中に形として落とし込んだ。演奏者と聴衆が一体となって音楽を楽しみ分かち合う理想の場を追求。

Technology



01 VP1

シンセサイザー / 1994 *

自然楽器の発音構造を解析 / 計算し再現、様々な音色変化を実現するVA音源を実装。楽器の温もりを木質感と金属感で表現。



03 CP1

ステージピアノ / 2009

サンプリングとモデリングを融合した新開発SCM音源により、圧倒的なクオリティの音色と表現力を備えたフラッグシップ。



05 PS-6100

ポータブルキーボード / 1984 *

FM音源とPCM音源を採用した先進の機能が、フラッシュユーザーフェイス化されたクローズ状態から、劇的な変化で目の前に展開。



02 B-2/B-6

エレクトーン / 1968 *

国産初の電子オルガンD-1の発表後、普及モデルとして開発。電子楽器の黎明期に「エレクトーン」としてのスタイルを確立。



02 DX7

シンセサイザー / 1983 *

フルデジタルFM音源。斬新なサウンドは様々な楽曲に活かされた。凹凸の無いスイッチ群が新時代のルックスを訴求。



04 CP-70

ステージピアノ / 1976 *

グランドピアノと同等の鍵盤アクションを内蔵し打弦音をピックアップで拾う。分解可搬性に優れた筐体構造。



02 AVANT GRAND N3

ハイブリッドピアノ / 2009

音の入り口である鍵盤やペダラから、出口であるスピーカーシステムまで、グランドピアノの本質を新世代の姿に再構築。

Form



06 key near window

コンセプトモデル / 2008 *

大切なものを置く窓際のような場所にふさわしい、人造大理石やガラスからなる、高級オーディオのような、大人のための楽器。



08 GS-1

デジタルキーボード / 1982 *

FM音源搭載。電子楽器の黎明期に、伝統的な鍵盤楽器のイメージを格調高い外装に落としこみ、一つの方向性を示した。



10 key in cantilever

コンセプトモデル / 2008 *

表面を人造大理石で覆い、要素を極限まで削ぎ落とした、電子ピアノの新たな原型ともいえるモニュメントのような佇まい。



07 CVP-7

電子ピアノ / 1985 *

「クラビノーバ」が確立していく、モダンな電子ピアノの初期モデル。家庭での演奏を前提に優雅さとモダンさを両立した佇まい。



07 key as gift

コンセプトモデル / 2008 *

人生最初のキーボードをイメージ。素材へのこだわりと楽器の原器のような普遍的な外観で、末永く愛着をもって使用可能。



09 key like jeans

コンセプトモデル / 2008 *

音源部をアンプ側に内蔵することで、木の塊のような本体は長い間使うことができ、傷や色の経年変化が愛着を深める。



11 MODUS F11

電子ピアノ / 2007

現代のインテリアのアクセントとなり、電子ピアノだからこそ可能な理想的なフォルムを求め、要素を再構築した新しい佇まい。



02 Radius

アップライトピアノ / 2007

伝統を踏まえながらも、現代のライフスタイルを反映し、モダンなディテールへと洗練させたアップライトピアノ。ヨーロッパ市場向け。

Performance



12 key for journey

コンセプトモデル / 2008 *

いつでもどこへでも持ち運べ、自由にスケッチブックに絵や詩を書きながら、インスピレーションを演奏や作曲に活かす。



14 GX-1

エレクトーン / 1975 *

電子オルガン様式のポリフォニックシンセサイザー。ステージ向けに本体とベンチを一体化し、プレイヤーとの関係をより強固に。



16 Opera Piano

カスタムモデル / 1999 *

坂本龍一氏の創作オペラで演奏されたカスタムモデル。透明感をキーワードに、オーケストラとの共演に特化したグランドピアノ。



18 KX5

MIDIキーボード / 1984 *

音源を分離して軽量化。ギターのような持ち方で、キーボーディストのステージ最前線でのアクティブな演奏を可能にした。



13 YS200

シンセサイザー / 1988 *

一見難解なシンセサイザーの敷居を下げ、音作りが左から右へのフローで分かりやすくなった。機能を視覚化したインターフェース。



15 MODUS H01

電子ピアノ / 2006

サロンピアノとして、ホストが「もてなしの空間」の中心で演奏。天板の開閉がさらに、ゲストとコミュニケーションする場を演出。



17 SHS-10

ポータブルキーボード / 1987 *

スピーカーやMIDI出力も供えたオールインワンのソルダート型キーボード。新たな楽しみ方への可能性を広げた。



02 STAGEA

エレクトーン / 2003

分解可搬性を高めた筐体構造。またそれは、聴衆へプレイヤーの手や足の動きをよく見せ、プレイヤーを鼓舞する。

*は生産終了品です